





### 鹿洞書院

鹿洞書院は仁祖8年(1630年)に'存養祠'という名前で創建され、肅宗39年(1713年)に'鹿洞'という扁額を王より賜り今日に至る。この書院には創建当時、烟村・崔徳之(1384~1455)だけが祀られていたが、その後崔徳之の孫である山堂・崔忠成(1458~1491)や文谷・金寿恒(1629~1689)、農岩・金昌協(1651~1708)などが順に祀られている。

現在、多くの古文書類や木版などが保管されており、代表的な古文書としては院生達の名簿が記載された『書院青衿案』25冊、『書院西齋儒案』2冊、『尋院録』5冊、『合敬齋保奴案』3冊などをはじめ、回状や決議文、奴婢寄贈文書などの文書がある。また木版としては、『烟村遺事』や『文谷集』、『山堂集』など、こちらに祀られている人物の文集や木版、近隣地域人物の『石川集』などがある。

これらの遺物は鹿洞書院の沿革、組織および運営、経済基盤、儒学者の名簿など、総合的で多角的なかなり貴重な資料である。

### 鹿洞書院案内

項目：市道有形文化財183号

名称：霊岩鹿洞書院所蔵木版および古文書類

分類：典籍類

数量：2種665点

指定日：1992.11.30

所在地：全南霊岩郡霊岩邑校洞里356

所有者：鹿洞書院

管理者：鹿洞書院